

平成23年11月2日

各位

会社名 NKS Jホールディングス株式会社
 代表者名 取締役会長 兵頭 誠
 取締役社長 佐藤 正敏
 (コード番号 8630 東証・大証)

平成24年3月期第2四半期の有価証券評価損および平成24年3月期
 第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年3月期第2四半期における有価証券評価損が、下記のとおりとなる見込みですのでお知らせいたします。

また、平成23年5月19日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、通期の業績予想については現在算定中であり、平成23年11月18日に予定している第2四半期決算発表時にあらためてお知らせいたします。

記

1. 平成24年3月期第2四半期における有価証券評価損

	連結	損害保険 ジャパン (単体)	日本興亜 損害保険 (単体)
(A) 平成24年3月期第2四半期会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)の有価証券評価損の総額(=イーロ)	595億円	258億円	△9億円
(イ) 平成24年3月期第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の有価証券評価損の総額(※4)	656億円	273億円	10億円
(ロ) 直前四半期(平成24年3月期第1四半期)累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)の有価証券評価損の総額	60億円	14億円	20億円

※1 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※2 当社の決算期末は、3月31日であります。

※3 その他有価証券で時価のあるものの減損処理にあたっては、原則として、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄についてすべて減損を行っております。

※4 連結の有価証券評価損には、経営統合に際してパーチェス法を適用したことに伴い、連結決算固有の処理として計上される額372億円を含んでおります。

○ 純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結
(B) 平成23年3月期末の純資産額	10,794億円
(A/B×100)	5.5%
(イ/B×100)	6.1%
(C) 平成23年3月期の売上高の2%の額(※)	524億円
(A/C×100)	113.6%
(イ/C×100)	125.2%
(D) 平成23年3月期の売上高の1%の額(※)	262億円
(A/D×100)	227.3%
(イ/D×100)	250.4%

※ 平成23年3月期において、経常利益額が売上高(経常収益)の2%の額未満であり、また当期純利益額が売上高(経常収益)の1%の額未満であるため、利益が少額の場合の開示基準の特例を適用しております。

2. 平成24年3月期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日まで）の業績予想数値の修正

（単位：億円）

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益（※）
前回発表予想（A）	13,835	10	0	0円00銭
今回修正予想（B）	14,016	△572	△333	△80円24銭
増減額（B－A）	181	△582	△333	
増減率（％）	1.3	△5,821.7	－	
（ご参考）前年同期実績 （平成23年9月期）	13,297	388	241	58円08銭

※ 当社は、平成23年10月1日付で普通株式4株を1株の割合で併合しております。1株当たり中間純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

3. 修正の主な理由

株式相場下落により、上記1. のとおり有価証券評価損を計上すること、および自然災害による発生保険金が当初の予想を上回る見込みであることを主因として、経常利益および中間純利益を下方修正するものであります。

（ご参考）

株式会社損害保険ジャパン（単体）の平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想
（単位：億円）

	正味収入保険料	経常利益	中間純利益
今回業績予想	6,480	△197	△104
前年同期実績	6,436	251	183

日本興亜損害保険株式会社（単体）の平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想
（単位：億円）

	正味収入保険料	経常利益	中間純利益
今回業績予想	3,198	100	73
前年同期実績	3,165	205	131

（注）上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上